

「沖縄集団自決冤罪訴訟」東京報告会

■進歩的知識人の黄昏一青さめる大江健三郎■(ブログ 狼魔人日記より)

徳永弁護士は、地裁判決後の大江健三郎氏のコメントをテレビで見て驚いたという。「私の書いた『沖縄ノート』を裁判官が正しく評価してくださったことに感銘を受けています」と大江氏は語っている。

彼が判決を読まないで記者会見に臨んだのは明らかだった。なぜなら、判決は大江氏が主張したテキスト無視の数々のまやかしについては、これを論破した原告側の主張を認め、いずれもきっぱりと退けていたからだ。

偏向着しい深見裁判長も、さすがに、このノーベル賞作家の呆れたまやかしまでは擁護し切れなかったのだ。

そう、裁判長は大江氏の詭弁は法廷でことごとく退けていながら、判決では論理の大飛躍の「推論」で誤魔化し、被告勝訴にしたのである。大江氏の詭弁は控訴審では既に死んでおり、判決は勝訴でも大江氏自身は既に控訴審では死に体である。

開催要項

日 時 平成20年7月19日(土) 午後1時半より

会 場 靖国会館(靖国神社内)
東京都千代田区九段北3-1-1

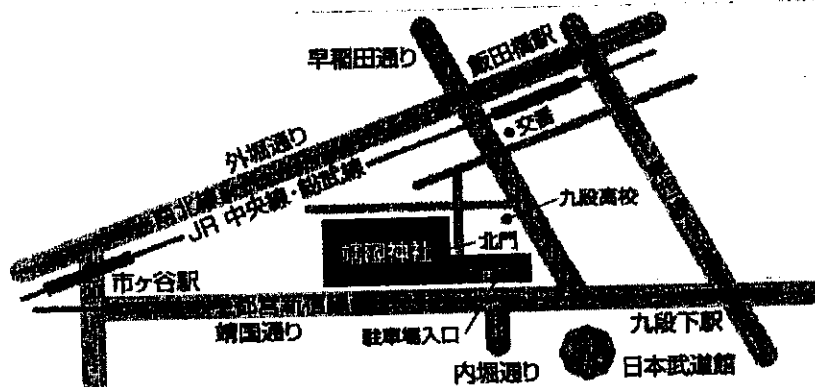
講 師 徳永信一 弁護士
演題「逆転勝訴の方程式」
一青さめる進歩的知識人・大江健三郎の黄昏一
推論と偏見の大阪地裁深見裁判長判決の功罪

参加費 無 料

主 催 沖縄集団自決冤罪訴訟を支援する会

☆この裁判は必ず最高裁まで争われます。ご協力をお願い致します
郵便振替口座「沖縄集団自決冤罪訴訟を支援する会」
00900-6-316826

靖国神社地図



連絡先 電話 072-695-4512 (平日 9時～19時 吉田まで)
FAX 072-695-5919